



平成22年11月10日

各 位

ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社  
代表取締役社長 青木毅  
(コード番号:3390)  
問合せ先 取締役管理本部長 村上孝徳  
電話番号 03-6690-9825

## 連結業績予想の修正及び個別業績と前期実績との差異に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月18日に公表した連結業績予想の修正、及び平成23年3月期第2四半期累計期間(平成22年4月1日～平成22年9月30日)の個別業績と前期実績差異に関しましてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,336	百万円 19	百万円 19	百万円 1	円 銭 2 91
今回発表予想(B)	1,950	82	76	△49	△143 66
増減額(B-A)	△386	63	57	△50	
増減率(%)	△16.5	336.1	302.6	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	743	△103	△182	△581	△3,744 53

#### 修正の理由

売上高につきましては、フロンティア株式会社で提供している人材関連事業において、新規顧客開拓が当初計画を下回ったこと等により、1,950百万円(期初予想比386百万円減)となる見込みであります。

しかしながら、営業利益につきましては、当社連結子会社である、フロンティア株式会社で提供している、教育・研修サービスのパッケージ化、利益率の高い人材紹介サービスの売上拡大等により、原価の低減、粗利率の改善が進んだことに伴い、売上高の減少にもかかわらず、82百万円(期初予想比63百万円増)となる見込みであります。経常利益につきましても、営業利益の増加に伴い、76百万円(期初予想比57百万円増)となる見込みであります。また、四半期純利益につきましては、経常利益は増加したものの、当社連結グループにおいて、税金等調整前四半期純損益が利益となる企業、損失となる企業が存在したため、法人税、住民税及び事業税が増加し、△49百万円(期初予想比50百万円減)となる見込みであります。

なお、平成23年3月期の通期連結業績予想につきましては、前回発表(平成22年5月18日)から変更はありません。

## 2. 個別業績と前期実績との差異

平成23年3月期第2四半期累計期間（平成22年4月1日～平成22年9月30日）の個別業績と前期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前年同期実績 (A)	百万円 743	百万円 △103	百万円 △182	百万円 △581	円 銭 △3,744 53
今回業績 (B)	706	△31	△34	△56	△165 57
増減額 (B-A)	△37	72	148	525	
増減率 (%)	△5.0	—	—	—	

### 差異の理由

当第2四半期累計期間の売上高は、当社が行っているASP事業の主要顧客である、外食・介護業界の業況は、依然として厳しい経営環境にあり、需要喚起に苦戦している状況であることから、ASP事業の売上が、前年同期実績を下回る見込みとなりました。

営業利益、経常利益につきましては、売上高の減少にもかかわらず、役員報酬・人件費の削減、本社の移転による家賃の削減を行うなど、販売費及び一般管理費について削減を進めた結果、前年同期実績を上回る見込みとなりました。また、四半期純利益につきましては、前年同期にASP事業等にかかる資産を減損損失として特別損失に計上していたことにより、前年同期実績を上回る見込みとなりました。

※上記の業績予想につきましては、発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上